



フードバンク関西ニュース

2005年 1月23日 第5号

フードバンク関西は食品関連企業から余剰食品を

受け取り、支援を必要とする人達を支える非営利団体にそれらが無償提供する活動をしています。

2005年1月23日発行
NPO法人フードバンク関西
事務局
尼崎市南清水37-14

2005年を迎えました。皆様方におかれましては、より良き新年をお迎えになられた事と御喜び申し上げます。 本年も、フードバンク関西へのご支援と協力の程、よろしくお願い致します。

昨年11月21日、第1回通常総会を開催しました。

フードバンク関西は、昨年1月26日に特定非営利活動法人となり、8月31日に初年度末を迎える事ができました。初年度の事業報告、決算報告を承認し、次年度の事業計画、予算等検討、承認する第1回通常総会を11月21日に開催しました。このように無事に年度末を迎え、そして新年度をスタートすることができました事は、ひとえに皆様方のご支援とご理解、ご協力の賜物と心から深く感謝しております。ボランティア一同、新年度も心を合わせて、フードバンク関西の活動を継続し、さらに発展していけるよう、誠心誠意努力する所存です。

本年度もよろしくお願い致します。以下に総会で承認されました平成15年度の事業報告と平成16年度の事業計画、現在の当法人の概況を御報告いたします。

フードバンク関西 平成15年度事業報告

平成16年1月26日～8月31日

(1) 事業活動の状況

フードバンク関西は、平成15年2月から約1年間の準備期間を経て、平成16年1月20日兵庫県知事の認証を得、同月26日NPO法人格を取得し、法人として活動を開始しました。

当法人は、食料関連業者から余剰食品を回収し、社会福祉施設や生活困窮者の自立を支援する非営利団体にこれら回収食料を無償提供することを事業目的として、尼崎市に事務所を構え、阪神地区で事業を展開しております。

この活動を通して、食品として価値をもつ余剰食品の有効活用を図ると共に、生活弱者を支える非営利団体を支援することで、より多くの方がより豊かな生活を楽しむことができる社会の実現を意図しています。当期、私達は、毎週月曜日から土曜日まで、コストコ尼崎店からは週6日、カルフルニ崎店からは週1日、ネスレ・ジャパンからは月1回、高島酒類食品(株)とプライス・クラブその他からは不定期に、パン類、米、スパゲッティ類、野菜、果物、缶飲料などの余剰食品の提供を受けており、その量は一週間におよそ1トンに達しております。受け取った食品は、大阪市内のホームレスを支援するNPOや教会、大阪市内や西宮市内の母子支援NPOや施設、尼崎市内の障害者作業所や共同生活ホーム、神戸市内の児童養護施設に提供してまいりました。私達が食品を提供する対象者は3千人を上回ると考えられます。

この、毎週月曜日から土曜日までの、余剰食品の回収と食品を提供する団体への搬送は、法人化当初、8人のボランティアが交代で、曜日毎に配送先を分担してスタートしましたが、8月末にはボランティアが10人に増加しました。現在、組織全体では、他の役割も含めて12人の無償ボランティアが、活動に従事しています。

日々回収する食品は、余剰食糧である性格上、種類と量の変動し、提供先の必要量との関係が必ずしも一致せず、ある程度調整在庫を凶らねばなりません。また、短期間とは言え食品の保管に際しては安全性に留意する必要があります。早急な冷蔵庫の設置が渴望されましたが、幸いなことに、木口ひょうご地域振興財団から、購入資金の助成を受けることができ、夏を迎える前の4月末には、大型冷蔵庫を事務所に設置することが出来ました。

続いて5月には、「はーとふるふぁんど ひょうごボランティアあしすと」から、年間運営経費の過半に相当する多額の助成金をいただくことが出来ました。

2004年3月、5月及び7月の3回、カルフル尼崎店において、障害者通所作業所の生産品バザーを開催しました。これは地域との交流を深めたいというカルフル尼崎店の意向を受け、当法人が地域の作業所に働きかけて企画立案したものです。一般の購買者に対して販路を持たない作業所にとって、このバザーは新しい販売の機会というだけでなく、消費者の動向を知り、生産品のレベルアップにつながる貴重な情報収集の場となっています。フードバンク関西としては、この活動を通して生活弱者を支える団体間の横のネットワークを作っていく機会と捉え、事業活動のもう一つの新しい柱として今後も続けていきたいと考えております。同年7月末には当法人と関係深いホームレス支援NPOを通じて朝食提供の依頼があり1週間にわたり1852食を提供しました。

平成15年度は1月26日から8月31日までという変則的な短い年度となり、事業活動の評価をするには短すぎる期間ですが、13名の正会員、26名の賛助会員の参加を頂き、又多くの団体、個人の方々からご支援を受けることが出来まして、なんとか順調な船出を果たすことが出来たのではないかと考えております。今後とも正会員、賛助会員並びに余剰食糧を提供して下さるの方々を含めご関係の皆様方には一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成16年度事業計画書

(平成16年9月1日から平成17年8月31日まで)

(1) 事業活動の今後の見通し

I 余剰食品の回収と、非営利団体への無償提供事業について

初年度に引き続き本年度も、フードバンク関西は食品関連業者から余剰食品を回収し、社会福祉施設や生活困窮者の自立を支援する非営利団体にこれら回収食糧を無償提供する事業を継続、発展させます。具体的には、昨年度には積極的に取り組む事が難しかった余剰食品の提供業者を新規に開拓し、その交渉過程で、私達が主張している資源の有効活用、使い捨て社会への再考、環境を保全するための具体的な実践として、フードバンク関西との協働を呼びかけます。また食品に限定せず、生活雑貨消耗品についても、同様な活動を試みたいと考えています。

食品の受け入れ団体については、現在回収してきた余剰食品を提供している団体への支援を続けると同時に最も援助を必要としている団体を探し、どんな支援が必要なのかを模索し社会的に

広がりをもつ活動へ発展していきます。

週6日のデリバリー活動に従事するボランティアを増やし、それぞれのボランティアが生活する町でのフードバンク活動の可能性についても検討していく手掛りを探っていきたいと考えます。

II 新しい事業への取り組みについて

昨年度、フードバンク関西が、余剰食品の提供業者であるカルフル尼崎店と、食品受け入れ団体の障害者通所作業所との間をつないで、カルフル店の商業スペースを無償で借り受け、2ヶ月に一度の頻度で出店料無料の作業所生産品バザーを開催する事業を開始できた事は、フードバンク関西の社会貢献の一つの新しい形として画期的であったと考えます。今までは、作業所の関係者が、その生産品を購入するという、言わば閉ざされた販路しか持たなかったのが、この大規模商業施設で一般の購買客に対し販売活動をする事で、生産品のレベルの向上と営業力のある生産品製作のための情報収集や研究に目覚しい取り組みが見られ、回を重ねる毎に、バザーで販売される生産品が販売力のある魅力的なものに変化しています。また、販売活動自体が、一般社会の人々と自然な形で接触する機会の少ない通所者にとって、得がたいリハビリの機会ともなっていると事でした。

これからも、フードバンク関西の活動を通じて新たなネットワークを作り、参加者が互助的に貢献しあう企画を創造していきます。

III フードバンク関西が抱える問題点

フードバンク関西の一番深刻な問題点は、事業に必要な資金を如何に確保するかという事です。昨年度は、幸いにも大型設備購入と運営費の二つで、民間福祉財団から多額の助成金を受け取る事が出来ました。本年度は、複数年での助成金受領は可能性が少ないので、地道に会員数を増やし、寄付を募る必要があります。

欧米と異なり、日本には福祉事業へ寄付をするという社会習慣が貧弱です。フードバンク関西も多くの会員、賛助会員の会費によって、定例の運営費が賄える事が理想ですが、現状では困難な事と予想されます。しかし、環境問題やエコロジーに無関心であるというのは企業イメージを悪くするという観点から、何らかの社会貢献の方法を探求している企業が増えてきています。それらの企業と環境問題を軸とした何らかの協働企画を提案し、支援を仰ぐ方法も新しい可能性として考えられると思います。フードバンク関西が全く分野が異なる所で新たな事業を展開し、その収益を期待するという事も非現実的です。何か収益性のある事業を、今まで培った経験を土台に、地道に模索していく必要があります。

新たな展開を期待しつつ、前向きに模索しながら、この運営費問題に柔軟に対応していきます。

フードバンク関西 法人の概況 2005年1月現在

*役員（5名） 理事 藤田治 山本茂 浅葉めぐみ 土谷好子 監事 長尾紋直

*正会員（17名）

*賛助会員及び寄付をお寄せくださった方（39団体及び個人（名称略））

愛神愛隣舎 尼崎市知的障害者育成会 尼崎厚生はすの会 NPOいくの学園

大阪イエス中心教会 (株)甲陽プランニング門田年男 NPO釜が崎支援機構

神戸真生塾 栄鮎篠田強 (株)スガノ菅野勝男 (株)大東塗装大東祥成
斎藤メンタルクリニック斎藤聡明 西宮市母子支援施設さくら苑さくら会
神愛子供ホーム タオ工房 (株)セキ・パール NPOコスモス
同朋学園 (株)南海自動車夏山洛成 双葉学園 (有)ワイ・ケイ・トランス
カネディアン・アカデミー高校 夢つとびあ

*大口の寄付及び助成金を下さった団体 (敬称略)

神戸クラブ 木口ひょうご地域振興財団 はーとふるふぁんど
(株)ジョンソン&ジョンソン 連合・愛のキャンパ

* 食品や物品を提供して下さる団体・法人・個人 (名称略)

コストコ尼崎 カルフール尼崎 (株)ネスレ・ジャパン (株)高嶋酒類食品
プライスクラブ (株)FBC (株)丸紅CLS 聖ミカエル国際学校
カネディアン・アカデミー高校

昨年度中は、皆様の暖かなご支援とご協力によって、私達特定非営利活動法人フーズバンク関西は活動が続ける事が出来ました。ありがとうございました。本年度も続けてのご支援とご協力をよろしくお願い致します。

フーズバンク関西の最近の活動

毎日のデリバリーに加えて下記の活動や行事をしました。

10月16・17日 神戸クラブグローバルチャリティフェスティバル参加
昨年に続き、NPOコーナーにブースを構え、アピールと募金活動。
10月23日 理事会及びボランティアミーティング 尼崎市労働福祉会館午後1時半
10月30日 NPO活動実践講座で30分間の活動報告。尼崎市立中央図書館
11月13日 土谷さん、神戸東灘でフリーマーケット出店 数人で手伝いをしました。
11月14日 第5回「まちの作業所生産品バザー」開催カルフルニ崎店1階モール
11月21日 第1回通常総会開催 総会后懇親会兼アマン氏送別会 ホップイン
12月30日～1月9日 年末年始休業
12月末 「連合・愛のキャンパ」より助成金提供決定 (公式ホームページ立上資金)
1月23日 第6回「まちの作業所生産品バザー」開催カルフルニ崎店1階モール
1月30日 第5回ボランティア・市民元気アップアワード昨年末1次審査通過。
第2次審査 (プレゼンテーションと展示発表) 会場 神戸クリスタル
タワー3階・クリスタルホール) 応援にご参加ください。お願いします。

3月中旬に運営資金調達のため、ボランティアによるフリーマーケット出店を計画しています。ご不要の子供衣類、押入れに入ったままの贈答品等がありましたら、フーズバンク関西にご寄付下さい。ご協力をお願いします。ご連絡をお待ちしています。